



2月28日・29日

津波避難時に備えて 冬季夜間避難所設営訓練

28日は西庶路裏山、29日は逍遙公園東側町有林の津波指定避難場所を会場に、防災コンテナに収納してある災害用備蓄品の使い方を学ぶ「冬季夜間避難所設営訓練」が行われました。(写真は逍遙公園東側町有林) 参加者は協力し合いテントを設営。続いて、テント内に段ボールベッドやLPガストーブを設置、投光器の使い方などを学びました。



「町内会でも訓練してほしい」と呼び掛ける菊原地域防災課長(左)



会場には大勢の白糠ファンが集まりました

2月27日～28日

物産展に大勢の客が訪れる しらぬかまるごと体験マルシェ

町の特産品を集めた物産展「第7回しらぬかまるごと体験マルシェ」が、北海道新聞社1階D0-BOX(札幌市)で開催されました。物産展では毛ガニやシヤマ、チーズ、シカ肉など、多くの特産品を販売。2日間で約1,600人が会場を訪れました。

また、2日目の「アイヌ文化体験」にも大勢の方が訪れ、アイヌ文様の刺繍などを体験していました。

2月27日

地元食材で環境について考える 白糠高校「環境鮮麗学」

白糠高校で環境鮮麗学が開かれ、1年生15人が調理実習などを通して、環境問題について学びました。調理実習では白糠漁協女性部の3人が講師を務め、生徒は、地元食材を使用したホッキカレーとタコザンギを調理し、気候変動が海産物に与える影響を学びました。その後、町内で実際に行われたサケ定置網漁の動画を視聴し、地域資源についても理解を深めました。



タコや野菜を調理する生徒たち



(左から) 今氏、廣谷氏、松森会長、棚野町長、山口氏、長尾氏

3月1日

社会福祉活動に役立てて ライオンズクラブがリングプル寄贈

白糠ライオンズクラブ(高橋清美会長)が、町社会福祉協議会にリングプル13kgを寄贈しました。

この日は、同クラブの高橋会長と山内敏明幹事が社会福祉協議会を訪れ、同協議会の池田浩樹常務理事にリングプルを手渡しました。リングプルは福祉備品の購入費などに充てられる予定で、池田常務理事は「大変ありがとうございます」と感謝していました。



池田常務理事(右)にリングプルを手渡す高橋会長(中央)



手分けして調理に励む参加者たち

2月28日

ちらし寿司づくりに挑戦 男性の料理教室

60歳以上の男性を対象にした「男性の料理教室」が保健センターで開かれ、5人が参加しました。

参加者は、ひな祭りを前に「ちらし寿司」や「すまし汁」マヨネーズとポン酢を和えた「蒸し鶏のマヨポン和え」「キャンディポテト」の4品を調理しました。

参加者は、できあがった料理を味わいながら「おいしいね」「家でも作ってみたい」などと話していました。

2月27日

ラジオDJのDJカツノリさん しらぬか応援大使委嘱式

白糠町出身で、FMノースウェーブのDJとして活躍しているDJカツノリさんの「しらぬか応援大使委嘱式」が、白糠の食材を使った料理とワインを楽しむ食事会「しらぬかグルメとワインの夕べ」(札幌市開催)において行われました。

DJカツノリさんは「大役をいただき光栄です。町の力になれるよう精一杯務めたい」と話していました。



「白糠の魅力をPRしていきたい」と述べるDJカツノリさん

3月5日

能登半島地震の被災者支援 女性ボランティアクラブ義援金

白糠町女性ボランティアクラブ(松森千枝子会長・会員106人)から日本赤十字社に義援金が贈られました。

役場には松森会長をはじめ、顧問の廣谷スマ子氏、副会長の長尾一恵氏と今千津子氏、会計の山口祥子氏が訪れ、棚野孝夫町長に義援金を手渡しました。

義援金は15万円。松森会長は「1日でも早く日常生活を取り戻してほしい」と話していました。